

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
1 0 3 - 7 2	高等学校	国語科	文学国語	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	文国 703	新 文学国語		

1. 編修の基本方針

言葉を学ぶ。言葉で生きる。

主体的に学ぶ

学び方を習得し、見通しをもって自覚的に活用しながら、学びに向かう力を高めます。

対話をとおして学ぶ

他者との交流・共有をとおして、多様な価値観が共生する社会で生きる力を高めます。

深く学ぶ

知識・技能と思考力・判断力・表現力を確実に育成し、言語文化の担い手を育てます。

この教科書は、教育基本法に掲げられた目標及び学習指導要領の目標を達成するために、以下に掲げる方針を基軸として編修しました。その際、選択科目としての性格や特色を意識するとともに、共通必修科目において育成された能力を基盤として、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の関連する内容を発展させ、育成を目指す資質・能力を確かめながら、主体的に、対話をとおして、深く学ぶことができるよう、教材の内容、配列、課題の設定を工夫しました。

- ① 多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。

国際的な高度情報化社会の到来とともに人や物の交流が盛んになる一方、国内では人口構成や産業構造の変化による社会や生活における意識の多様化など、さまざまな問題が起こっています。多様な価値観との共存が求められる現代社会においては、こうした現実に対処するために、さまざまなものの見方、考え方、感じ方を知り、物事を大局的・多角的に捉え的確に判断するバランスのとれた能力

が必要になります。これからのグローバル社会に対応し持続可能な社会の担い手となる人材の育成に向けて、この教科書では特に、理解の質を高め確かな学力を育成することに意を尽くしました。また、思考力・判断力・表現力等を有機的に関連づけた教材と学習課題を効果的に配置するよう心がけました。さらに、他者の話や文章における情報や主張を的確に切り分けつつ理解し、それに対する自己の主張を論理的に展開させる課題を配置することで、国際社会を生きるための総合的な国語力と個の自覚を育成することを目指しました。

② 自ら学び自ら考える意欲を喚起して、主体的に生きてゆく力をはぐくみ、国語の力を育成する。

高度情報化社会の到来やA I（人工知能）の進展などに伴い、現代社会を自覚的に生きるには、氾濫する情報を適切に収集・整理していく能力が求められます。そのことが、他者を尊重しつつ、自ら学び自ら考え主体的に生きる力の基本になります。そうした観点から、この教科書では、特に言葉を通して現実をみつめます。他者を理解しつつ、主体的に考え、伝え合う言語活動を通して、生徒一人一人の国語の力を育成することを第一のねらいとしました。これは生涯にわたって日本の言語文化に親しみ、その担い手として、生きて行くための基本的な能力の育成につながります。複雑化する現代社会に対応する人材を育成するために、国語教育の受け持つ領域は、もっとも基本的かつ広範なものです。そのための教材の厳選・適正な学習活動の展開には細心の配慮をしました。

③ 伝え合う力を確かなものにするため、表現学習を重視し、理解学習と総合化した体系的な国語教育を目指す。

伝え合うという行為は、相手を理解することであると同時に、自己を表現することでもあります。生徒たちの言語生活を真に生き生きとしたものにし、伝え合う力を確かなものにしてゆくためには、表現のための学習と理解のための学習とが有機的に配置され、総合的に位置づけられる必要があります。そのため、この教科書では、表現と理解を結びつけた独自の課題（＝学習の場）を設定することで、生徒たちの主体的な学習活動を促し、言語能力を総合的に高められるよう配慮しました。また、内向的な学びに向かいがちな学習のあり方に対する反省を踏まえ、自分の意見や考えの積極的な発信や他者との協働的な活動をとおして、開かれた個性、広範な教養が育まれることを目指しました。

④ 言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。

社会生活に必要とされる知識や技能を身につけるために、日本の言語文化に対する理解と認識を高めてゆくことが求められます。そのため、生徒の興味関心を引き出し、生徒の学習意欲を喚起できる、豊かな価値を有する内容になるよう心がけました。また、言語の教育という点を重視し、国語に関する知識や言語事項の学習にも留意しました。こうした学びが、生徒に言語文化の担い手としての自覚を喚起させ、豊かな言語活動を通して社会に関わろうとする態度を養います。学習にあたっては、学習目標の明示、課題、活動、コラムを経て、学習の振り返りによる自己確認に至るまで、個々の教材開発による、一貫した学習計画が達成できるよう配慮しました。さらに、日本の言語文化を特徴的にいる教材をバランスよく配置するとともに、必要に応じて古典教材と近代の作品とを関連させるなど、発展的に考えさせる学習課題の設定についても格別の配慮をしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭詩 最初の質問	詩を通して豊かな言葉の世界にふれ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第一号)	表 2～4
第1単元 発想と感覚	文学の言葉を感じ取り、言葉の響きを味わったり、「虹」をめぐる発想の展開を捉えたりすることを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第一号)	19～30
第2単元 読みの深まり	文学作品の解釈の多様性を楽しむ中で、人間存在とは何か、自然と人間との関係や人間の特徴を考えることを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第四号)	31～58
表現プラザ1 みんなでつなぐ リレー小説	さまざまな視点から物語をつくることを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第五号)	59～66
第3単元 人間の姿と心	文学作品における心情の表現に読みひたる中で、自他の「心」というものについて考えることを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。(第二号)	67～96
第4単元 作品の挑戦	「らしさ」ということについてふれた文章や作者の自評などを読み、考えを深めることを通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第三号)	97～132
表現プラザ2 想像からの語り	詩を心情の語りに書き換えることを通して、豊かな言葉の世界にふれ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第一号)	133～140
第5単元 意味と解釈	小説に描かれた、主人公である「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて考えを深めることを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第一号)	141～190
第6単元 近代の創造	韻文や現代の言葉とは異なる文語文に親しむことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第五号)	191～216
表現プラザ3 現代に甦る歌物語	和歌の理解をふまえ、歌物語をつくることを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。(第二号)	217～224

第7単元 史実と虚構	史話の登場人物達の生き方や考え方について考えることを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。 (第二号)	225～252
表現プラザ4 誘惑する書評	人物像や作品観を深める文章を書き、交流することを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。(第二号)。	253～260
第8単元 想像と創造	文学の想像力を捉える中で、時代の異なる文章を重ねて読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した。(第一号)	261～286
表現プラザ5 表現の宝さがし	短歌・俳句の推敲や創作を通して、豊かな言葉の世界にふれ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第一号)	287～294
第9単元 作品の変貌	さまざまなメディアによる作品を手がかりに、自己と他者との関わりについて考えを深めることを通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第三号)	295～330
表現プラザ6 言葉でスケッチ	五感で感じたことを言語に表現することを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。(第一号・第二号)	331～338
第10単元 文学の普遍性①	時代とともに形を変えながら親しまれてきた古典を読むことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。 (第五号)	339～368
第11単元 文学の普遍性②	人間のあり方や戦争と平和などについて書かれた文章を読むことを通して、生命を尊び守っていく態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した (第四号・第五号)。	369～412
第12単元 文学の普遍性③	それぞれの視点から描かれた小説や評論を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。 (第一号・第五号)	413～444

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

全ての学習者が学習しやすい紙面づくり

- ❖ 特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の知見を参考に，ユニバーサルデザインに配慮し，誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。
- ❖ 教材で使用している文字にUDフォントを使用し，読み誤りなどが生じにくいよう配慮しました。
- ❖ 挿絵や図版を適所に配置することで，生徒の学習意欲を喚起し，内容の理解を支えることを目指しました。

カラーユニバーサルデザイン（CUD）への対応

- ❖ 色覚の特性を考慮し，誰にでも見やすく，学びやすい配色となるよう工夫しました。
- ❖ 識別しにくい配色は避け，色だけの違いに頼らず，形の違いや，記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。
- ❖ 色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮しました。

環境にやさしい教科書

- ❖ 環境の保護や資源の節約のため，原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用しています
- ❖ 植物由来の油および，それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ，印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

その他の配慮事項

- ❖ 製本は堅牢で，十分な耐久性を備えています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-72	高等学校	国語科	文学国語	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	文国 703	新 文学国語		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 「読むこと」のスリー・ステップ学習 基礎から活用、課題探究へと発展的に単元を構成し、各単元で目指す「国語の力」を明確化しています。また、文学を読む力を、生涯を通して身につけていく「資質・能力」として、系統的・段階的な学習の積み上げを目指しています。

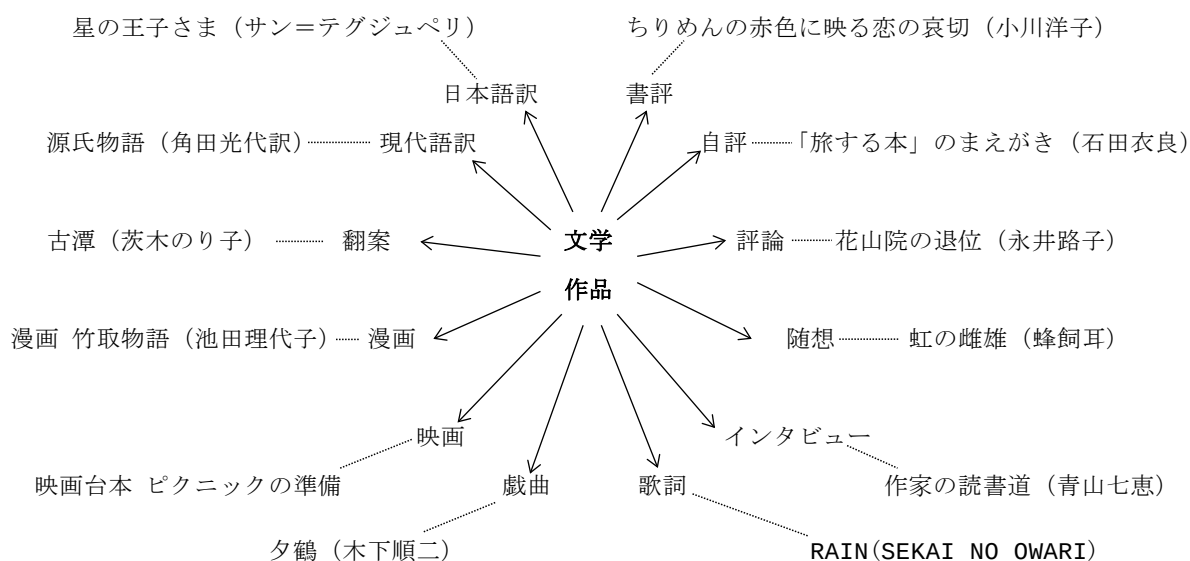
単元構成	ねらい		単元名	目指す国語の力
I 部 2 年	第1単元	基礎的能力 文学の読み方の基礎的・基本的な技法（スキル）を習得する ↓ 作品に即した着実な読み、解釈や表現に関する学習課題・協働学習・探究課題を充実させ、確かな読みの力をつける	発想と感覚	文学の言葉を感じ取る
	第2単元		読みの深まり	解釈の多様性を楽しむ
	第3単元		人間の姿と心	心情の表現に読みひたる
	第4単元		作品の挑戦	作家のストラテジーを読み解く
	第5単元		意味と解釈	表現の意味を捉え直す
	第6単元	活用能力 言語文化の広がりを目を向ける ↓ 古典やその現代語訳、戯曲や小説の映画化、外国人による日本文学論など、日本の言語文化としての文学の魅力を知る	近代の創造	近代の文章に価値を見いだす
	第7単元		史実と虚構	歴史の語り方について考える
II 部 3 年	第8単元	課題探究 自ら課題を設定して探究する ↓ 古典文学や翻訳文学、近現代文学や評論などから自分で課題を設定、追究することを通して、自分にとっての文学の意味を考えるとともに、小論文を書く	想像と創造	文学の想像力を捉える
	第9単元		作品の変貌	言語文化の可能性を追求する
	第10単元	課題探究	文学の普遍性①	時代を越えて生きる古典文学を ^{たず} 温める
	第11単元		文学の普遍性②	空間を越えて生きる翻訳文学の価値を見つける
	第12単元		文学の普遍性③	自分と未来とをつなぐ文学の魅力を探る

2 「書くこと」のダブル学習 次の二つの角度から、文学に対して主体的・創造的に向き合い、書く力の育成・向上をはかりました。

- 多様な創作的活動を、短い時間で効果的に行う……「表現プラザ1～6」（6教材）
- 自ら課題を設定し、三つの「型」の小論文を書く……「〇〇型小論文」（3教材）

3 言語文化の中の文学国語 文学が身近な存在であることに気づける学習を想定しました。

(教材例)



4 さまざまな形態の比べ読みや重ね読み 文学作品を多の作品とともに、相対化して読むことを通して、思考力と表現力の育成を大事にしました。

(教材例)

①本教材「山月記」(中島敦)

↓

探究 三浦しをんの書評「石ならぬ中島敦」を合わせて読み、書評の意義を考え、他の作品の書評を読む。

②本教材「こころ」(夏目漱石)

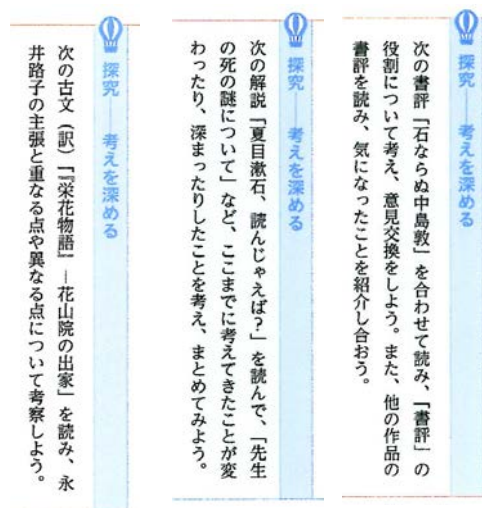
↓

探究 奥泉光の解説「夏目漱石、読んじゃえば？」を読んだうえで、「こころ」を読み直し、読みの変化や深まりを考えてまとめる

③本教材 永井路子「花山院の退位」

↓

探究 「栄花物語」の「花山院の出家」の現代語訳を読み、永井路子の評論との比較を通して二つの作品の描き方の違いを考察する。



5 生涯学習力としての読書

- ・各単元末に、高校生へのメッセージとして、オール書き下ろしの「読書案内」をおきました。
- ・「資料編」には「小さな図書館によろこ」 「探究のためのブックガイド」をおきました。

6 「物語・小説読み解きツール」

- ・文学を読み解くための視点を明示し、教科書末の「資料編」にまとめました。
- ・リンクマークで学習課題と連動させ、根拠のある読みを主張する力の育成を目指しました

2. 対照表

図書の構成・内容(教材名と能力目標)	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
○巻頭詩 最初の質問 詩・長田弘 絵・いせひでこ		表2～4	
1 発想と感覚＜文学の言葉を感じ取る＞ 二十億光年の孤独(谷川俊太郎) [探究] 意味以前の世界(谷川俊太郎) 虹の雌雄(蜂飼耳) [探究] RAIN(SEKAI NO OWARI) ・コラム 「にじ」をめぐる言語文化誌 ・読書案内 二回目からの読書(蜂飼耳)	●読む ア構造と内容の把握 ◆言葉 ア言葉の働き	20～23 24～28 29 30	6
2 読みの深まり＜解釈の多様性を楽しむ＞ 予感(青山七恵) [探究] 作家の読書道(青山七恵) 雉始雛(絲山秋子) [探究] 近・現代の短歌と俳句(正岡子規ほか) ・コラム 浦島太郎、空に舞う ・読書案内 「これはなんだ！」(青山七恵)	●読む エ精査・解釈 ◆言語文化 イ読書 ◆言葉 イ語彙	32～39 40～56 57 58	8
❖ 表現プラザ1＜構成や展開の工夫をする＞ みんなでつながりレー小説 冒頭書き出し例集(トーベ・ヤンソン)ほか ・表現コラム 自分のなかに「語り手」をつくる	○書く イ構成の検討 [言語活動エ] 書き継いで作品作成 ◆言葉 イ語彙	60～66 66	2
3 人間の姿と心＜心情の表現に読みひたる＞ 山月記(中島敦) [探究] 石ならぬ中島敦(三浦しをん) デューク(江國香織) [探究] 草之丞の話(江國香織) ・コラム 虫の小鳥に蚕に虎に……変身の話 ・読書案内 「読書嫌い」のあなたへ(笹原宏之)	●読む カ考えの形成／共有 ◆言葉 ウ文や文章	68～85 86～94 95 96	8
4 作品の挑戦＜作家のストラテジーを読み解く＞ 少年という名前のメカ(松田青子) [探究] 皮膚と心(藤崎彩織) バースデイ・ガール(村上春樹) [探究] 村上作品の比喩例(村上春樹) 「バースデイ・ガール」について(村上春樹) ・コラム 表現者の言葉、享受者の感性 ・読書案内 好きなように読んだ。(松田青子)	●読む イ精査・解釈 [言語活動ア] 書評や議論 [言語活動イ] 論述や討論 ◆言葉 エ表現の技法	98～111 112～130 131 132	8
❖ 表現プラザ2＜心情の語り方を工夫する＞ 想像からの語り 未知へ(木村信子)／夕焼け(吉野弘)／ 売炭翁(白居易) ・表現コラム タイトルは、書く「わたし」をはげます	○書く ア題材の設定／情報の収集／ 内容の検討 [言語活動イ] 書き換え ◆言葉 ウ語彙	134～139 140	2
5 意味と解釈＜表現の意味を捉え直す＞ こころ(夏目漱石) [探究] 夏目漱石、読んじゃえば(奥泉光) 物語もっと深読み教室(宮川健郎) [探究] 夢は何語で見る？(多和田葉子) ・コラム 明治時代のスイーツ文豪男子 ・読書案内 本と付き合う(奥泉光)	●読む オ精査・解釈 ◆言葉 イ語彙	142～177 178～188 189 190	8

6 近代の創造＜近代の文章に価値を見いだす＞ 永訣の朝（宮沢賢治） 〔探究〕 「アンソロジー」を企画する （編集委員会・東雅夫） たけくらべ（樋口一葉 訳・川上未映子） 〔探究〕 近代の文体をたどる（森鷗外ほか） 〔発展探究〕 正岡子規 もうひとつの顔（長谷川權） ・コラム 伏して見る花 細道の井戸 ・読書案内 『徒然草』を読もう（長谷川權）	●読む ウ精査・解釈 〔言語活動オ〕 アンソロジーと批評 ◆言葉 エ表現の技法	192～199 200～209 210～214 215 216	12
❖表現プラザ3＜読み手を引きつける工夫をする＞ 現代に甦る歌物語 古典和歌・近世俳句（定家・芭蕉ほか） 〔参考〕 和歌と物語（谷知子） 伊勢物語（訳・田辺聖子） ・表現コラム 大きな段落のほぐし方	○書く ウ考えの形成／記述 〔言語活動ウ〕 翻案作品作成 ◆言語文化 ア伝統的な言語文化／ 言葉の由来や変化、多様性 ◆言葉 表現の技法	218～223 224	2
7 史実と虚構＜歴史の語り方について考える＞ 項羽と劉邦 「史記」を読む（尾形勇） 〔探究〕 鴻門の会（司馬遷 訳・大木康） 花山天皇の退位 「大鏡」を読む（永井路子） 〔探究〕 栄花物語 花山院の出家（編集委員会訳） 〔発展探究〕 歴史から物語、そして歴史物語へ （秋山虔） ・コラム 憧れの物語 独り占め ・読書案内 自分探しより本探し（大木康）	●読む オ精査・解釈 ◆言語文化 ア伝統的な言語文化／ 言葉の由来や変化、多様性 ◆言葉 ウ文や文章	226～237 238～245 246～250 251 252	12
❖表現プラザ4＜交流し、文章を整える＞ 誘惑する書評 ちりめんの赤色に映る恋の哀切（小川洋子） 大和ことばの柔らかさ（俵万智） ・表現コラム 引用は二〇〇字で	○書く エ推敲／共有 ◆言語文化 イ読書 ◆言葉 ウ文や文章	254～259 260	2
8 想像と創造＜文学の想像力を捉える＞ 月火水木金土日（川上弘美） 〔探究〕 川上作品をめぐる（岸本佐和子ほか） 源氏物語 北山の垣間見（紫式部 訳・角田光代） 〔探究〕 寂聴源氏塾（瀬戸内寂聴） 〔発展探究〕 想像への畏敬 大和路をゆく （リービ英雄） ・コラム おもしろさうしとユーカラ ・読書案内 開かれる世界への扉（渡辺満里奈）	●読む キ考えの形成／共有 ◆言葉 ア言葉の働き	262～271 272～281 282～284 285 286	12
❖表現プラザ5＜素材を吟味し、表現を追究する＞ 表現の宝さがし ことばの不思議（穂村弘） ・表現コラム ことば選びは繊細に	○書く ア題材の設定／情報の収集／ 内容の検討 〔言語活動ア〕 作品創作 ◆言葉 エ表現の技法	288～293 294	2
9 作品の変貌＜言語文化の可能性を追求する＞ 鞆（安部公房） 〔探究〕 夕鶴（木下順二） 竹取物語 かぐや姫の昇天（訳・森見登美彦） 〔探究〕 マンガ古典文学 竹取物語（池田理代子） 〔発展探究〕 ピクニックの準備（恩田陸） 〔発展探究〕 映画「夜のピクニック」 （長澤雅彦・多部未華子ほか） ・コラム ドラマの中の方言はどこにある ・読書案内 ここではないどこかへの扉（穂村弘）	●読む キ考えの形成／共有 〔言語活動ウ〕 書き換え 〔言語活動エ〕 メディアの比較 ◆言葉 ウ文や文章	296～303 304～313 314～322 323～328 329 330	12

❖表現プラザ6<五感で感じたことを言語に表現する> 言葉でスケッチ 絵画作品（ミュシャ、ゴッパ、河鍋曉斎、モネ） 〔参考〕いちまいの絵（原田マハ） ・表現コラム 自分の中に「読み手」と「書き手」をつくる	○書く エ推敲／共有 ◆言葉 ア言葉の働き	332～337 338	2
10 文学の普遍性① <時代を越えて生きる古典文学を^{たず}温める> 雨月物語 浅茅が宿（上田秋成 訳・石川淳） 方丈記 養和の飢饉ほか（鴨長明 訳・三木卓） 古譚（茨木のり子） 〔参考〕桃花源記（陶潜） 「虫めづる姫君」の観察眼（中村桂子） 〔参考〕堤中納言物語（訳・中島京子） ❖調査・研究型小論文を書く ・読書案内 新しい言葉に出会う楽しみ（中村桂子）	●読む オ精査・解釈 カ・キ考えの形成／共有 ○書く イ構成の検討 エ推敲・共有 ◆言葉 イ語彙 エ表現の技法	340～347 348～353 354～357 358～364 365～367 368	14 読 8 + 書 6
11 文学の普遍性② <空間を越えて生きる翻訳文学の価値を見つける> 星の王子さま（サン＝テグジュペリ 訳・内藤濯） 藤野先生（魯迅 訳・竹内好） ・旅する「翻訳」文学 Part1 ナガサキの郵便配達（タウンゼント 訳・間庭恭人） 卵を抱きながら。もしくは、くせになる翻訳 （松永美穂） ・旅する「翻訳」文学 Part2 ❖意見・主張型小論文を書く ・読書案内 翻訳が開く世界（松永美穂）	●読む オ精査・解釈 カ・キ考えの形成／共有 ○書く イ構成の検討 エ推敲・共有 ◆言葉 イ語彙 エ表現の技法	370～379 380～386 387 388～403 404～407 408 409～411 412	14 読 8 + 書 6
12 文学の普遍性③ <自分と未来をつなぐ文学の魅力を探る> 山椒魚（井伏鱒二） 〔参考〕井伏鱒二ってどんな人？ 珊瑚のリング（吉本ばなな） 旅する本（石田衣良） 〔参考〕「旅する本」の「まえがき」（石田衣良） 文学の未来（小野正嗣） ❖企画・提案型小論文を書く ・読書案内 どうして人は読書をするのか （小野正嗣）	●読む オ精査・解釈 カ・キ考えの形成／共有 ○書く イ構成の検討 エ推敲・共有 ◆言葉 イ語彙 エ表現の技法	414～421 422～427 428～433 434～440 441～443 444	14 読 8 + 書 6
【資料編】 1 物語・小説読み解きツール ①語り手 ②構成・展開 ③場面設定 ④転換点 ⑤伏線 ⑥キーアイテム ⑦人物造形 ⑧役割語 ⑨人物相関図 ⑩感情表現 ⑪象徴・暗示 ⑫背景 2 小さな図書館にようこそ 3 探求のためのブックガイド 4 読書生活を広げるための 主な作（筆）者＋作品名索引	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度の育成を図っている。	446～451 452～455 456～459 460～463	適宜